

4. 活動報告

4.1 都市防災研究協議会（経済）

都市や産業集積地で発生する大規模災害によってもたらされる経済的な影響についてシナリオとして把握することにより、災害対応や復興施策の前提条件を明らかにするとともに民間部門におけるBCPなどで考慮すべき経済的な脆弱性について検討する。

4.1.1 第7回都市防災研究協議会（経済）

開催日時：平成26年7月1日（火）14:00～17:00

開催場所：関西大学東京センター

議事次第・発表者

- ① アジア太平洋研究所 研究員 林 万平
「自然災害が経済に及ぼす影響の実証分析」
- ② 九州大学大学院経済学研究院 准教授 宮崎 毅
関西大学社会安全学部 准教授 永松伸吾
「東日本大震災の復興財政に関する実証分析」
- ③ 全体討議

4.1.2 第8回都市防災研究協議会（経済）

開催日時：平成26年11月28日（金）14:00～16:15

開催場所：関西大学東京センター

議事次第・発表者

- ① 東京経済大学経営学部 教授 吉田 靖
「株式市場と自然災害リスク」
- ② 全体討議
- ③ 来年度の研究に関する打ち合わせ

4.1.3 第9回都市防災研究協議会（経済）

開催日時：平成27年3月10日（火）14:00～16:00

開催場所：関西大学東京センター

議事次第・発表者

- ① 東京海上日動リスクコンサルティング(株)経営企画室 上席主席研究員 指田朝久
「リスクファイナンスに関する最近の話題」
- ② 全体討議

4.2 都市防災研究協議会（政策）

阪神・淡路大震災や東日本大震災等を通じて、巨大災害に対する大都市の脆弱性の克服が重要な課題となっている。そこで、この課題解決に資するため、巨大災害対策法制のあり方について検討する。

4.2.1 第6回都市防災研究協議会（政策）

開催日時：平成26年5月26日（月）13:30～16:00

開催場所：全国町村会館 第2会議室

議事次第・発表者

- ① 大阪大学大学院法学研究科 教授 武田邦宣
「災害時における企業間協力と独禁法規制」
- ② 全体討議

4.2.2 第7回都市防災研究協議会（政策）

開催日時：平成26年10月31日（金）13:30～16:00

開催場所：京都大学東京オフィス会議室2・3 品川インターシティ A棟 27階

議事次第・発表者

- ① 成蹊大学文学部 准教授 墓田 圭
「被災者支援に関する国際原則・ガイドライン」
- ② 全体討議

4.2.3 第8回都市防災研究協議会（政策）

開催日時：平成26年12月1日（月）13:30～16:00

開催場所：京都大学東京オフィス会議室2・3 品川インターシティ A棟 27階

議事次第・発表者

- ① 信州大学学術研究院 准教授 田中祥貴
「大災害と行政の委任立法」
- ② 全体討議

4.3 都市防災研究協議会（TIEMS）

巨大災害の災害対応では、行政だけでなく民間も含めて災害対応体制の標準化が行われていることが重要である。行政・民間を含めた防災担当職員の災害対応能力の向上を目指し、TIEMS日本支部と共同して、標準的な災害対応体制に関する情報共有のプラットフォームの構築について検討する。

4.3.1 第6回都市防災研究協議会（TIEMS）

開催日時：平成26年6月20日（金）13:00～17:00

開催場所：TKP ガーデンシティ永田町 ホール 2D

議事次第・発表者

- ① 岩手大学地域防災研究センター 教授 越野修三
「岩手県における災害対応組織」
- ② 消防庁国民保護防災部広域応援室 室長 杉田憲英
「消防における平時の組織体制と緊急時の組織体制」
- ③ 警察庁警備局警備課災害対策室 中上一明
「警察における平時の組織体制と緊急時の組織体制」

- ④ (株)インターリスク総研事業リスクマネジメント部 主任研究員 田代邦幸
「民間企業における機能に応じた組織体制の事例」
- ⑤ 全体討議

4.3.2 第7回都市防災研究協議会 (TIEMS)

開催日時：平成26年9月19日(金) 13:00～17:00

開催場所：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター9F ホール9A

議事次第・発表者

- ① 名古屋工業大学大学院 教授 渡辺研司
「BCP連携の必要性」
- ② (株)リコー内部統制室リスクマネジメント部 部長 荻原 毅
「3.11を機に構築したサプライチェーン連携」
- ③ (株)日立製作所ひたちなか総合病院 院長 永井庸次
「地域医療のBCP連携」
- ④ ニュートン・コンサルティング株式会社 シニアコンサルタント 内海良
「機能する連携の仕組み」
- ⑤ 全体討議

4.3.3 第8回都市防災研究協議会 (TIEMS)

開催日時：平成27年1月30日(金) 13:00～17:20

開催場所：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター9F ホール9A

議事次第・発表者

- ① 京都大学防災研究所 教授 林 春男
「ESFとAARとタイムラインの関係」
- ② 東京メトロ鉄道本部安全・技術部 防災担当課長 木暮敏昭
「タイムラインの具体事例」
- ③ CeMI(環境防災総合政策研究機構) 環境・防災研究所 副所長 松尾一郎
「ESFの抽出に必要な振り返り(AAR)と実効性のあるタイムライン」
- ④ 岩手県医科大学医学部救急医学講座 助教 秋富慎司
「タイムラインの前提としてのESFの必要性」
- ⑤ 全体討議

4.4 全体ワークショップ

4.4.1 第5回全体ワークショップ

開催日時：平成26年8月18日(月) 13:00～17:05 8月19日(火) 10:00～17:00

開催場所：ホテルルポール麴町 ガーネット

議事次第・発表者

平成26年8月18日(月)

12:00 開場

13:00 開会

	文部科学省あいさつ	
	文部科学省地震・防災研究課防災科学技術推進室	丸山秀明
13:05	都市地震防災ジオポータルの開発	
	京都大学防災研究所	鈴木進吾
13:20	広域版地震被害想定システムと防災情報のマッシュアップ	
	総務省消防研究センター	細川直史
13:35	関西圏における次世代復興計画に関する研究	
	関西大学社会安全学部	越山健治
13:50	ジオポータルに関する討論	
14:20	休憩	
14:35	ライフライン機能被害・復旧予測モデルのシステム化の試み	
	岐阜大学工学部	能島暢呂
14:50	既往地震におけるライフライン施設・機能の被害・復旧データの分析： 上水道システム及び橋梁（津波被害）	
	筑波大学システム情報系	庄司 学
15:05	上水道管・道路交通の被害・復旧情報の体系化	
	千葉大学大学院工学研究科	丸山喜久
15:20	南海トラフ巨大地震における上下水道施設の必要復旧人員の予測	
	鹿島建設株式会社技術研究所	永田 茂
15:35	ライフラインに関する討論	
16:05	都市の脆弱性軽減のためのマイクロメディアサービスプロトタイプ版の開発	
	新潟大学災害・復興科学研究所	井ノ口宗成
16:20	マイクロメディアサービスにおけるマッシュアップ・双方向インタラク ション技術の開発	
	独立行政法人産業技術総合研究所	野田五十樹
16:35	マイクロメディアに関する討論	
17:05	終了	

平成 26 年 8 月 19 日（火）

9:30	開場	
10:00	大規模災害に耐え得る防災法制・体制の確立	
	関西大学社会安全学部	山崎栄一
10:15	災害対策法制の見直しと今後の課題	
	政策研究大学院大学	武田文男
10:30	大規模都市災害からの経済回復	
	関西大学社会安全学部	永松伸吾
10:45	危機管理システムの標準化を目指して ISO22320	
	京都大学防災研究所	牧 紀男
11:00	災害時ロジスティック能力にひつようなものとは？	
	岩手医科大学医学部救急医学講座	秋富慎司
11:15	都市防災研究協議会に関する討論	

13:00	防災リテラシーハブの現状と今後 GK Kyoto 小林皓介/兵庫県立大学環境人間学部 木村玲欧
13:15	WebEOCに関する進捗報告 NTTセキュアプラットフォーム研究所 前田裕二
13:30	生活再建支援システムに関する教育・訓練システムの開発 新潟大学危機管理室 田村圭子
13:45	生活再建支援システムの水害・土砂災害への適用 インターリスク総研総合企画部 堀江 啓
14:00	建物被害調査における Visual Monitoring System の提案 常葉大学大学院環境防災研究科 田中 聡
14:20	防災リテラシーハブに関する討論
14:50	休憩
15:00	中心市街地における効率的な災害対応能力向上手法に関する研究 工学院大学建築学部 久田嘉章
15:15	超高層ビルにおける災害時の建物被害確認と情報集約に関する検討 鱒沢工学研究所 鱒沢 曜
15:30	防災担当職員向け教育・訓練システムの開発 東京大学生産技術研究所 目黒公郎
15:45	防災プロセスの構築-効率的な地域防災計画の作成手法の構築を目指して 東京大学生産技術研究所 沼田宗純
16:00	訓練・人材育成に関する討論
16:30	総合討論・総括 京都大学防災研究所 林春男
17:00	終了

4.4.2 第6回全体ワークショップ

開催日時：平成27年1月22日（木）14:00～16:30 1月23日（金）10:00～16:00

開催場所：神戸国際会議場 5F 501号室

議事次第・発表者

1月22日

14:00～14:10 開会挨拶

京都大学防災研究所 教授 林 春男

14:10～15:10 都市の脆弱性が引き起こす激甚災害の軽減化プロジェクト「3. 都市災害における災害対応能力の向上方策に関する調査・研究」

京都大学防災研究所 教授 林 春男

15:10～16:10 「国難」となる最悪の被災シナリオと減災対策

関西大学社会安全研究センター センター長・教授 河田恵昭

16:10～16:30 質疑応答

1月23日

10:00～10:40 災害対策法制度の見直しと課題

政策研究大学院大学 教授 武田文男

10:40～11:20 国難災害における雇用・経済復興対策

関西大学社会安全学部 准教授 永松伸吾

11:20～12:00 広域版地震被害想定システムと防災情報のマッシュアップ

総務省消防研究センター 地域連携企画担当部長 細川直史

13:00～13:40 液状化の根本問題と人工地盤の被害と対策

京都大学 名誉教授 岡二三生

13:40～14:20 災害対策本部にて先を見据えた対応を支援する ICT システムの構築

NTT セキュアプラットフォーム研究所 理事・主席研究員 前田裕二

14:20～15:00 国難災害における災害時要援護者対応を考える

新潟大学危機管理室 教授 田村圭子

15:00～16:00

パネルディスカッション

モデレーター：関西大学社会安全研究センター センター長・教授 河田恵昭

パネリスト：話題提供者全員

16:00

閉会挨拶

関西大学社会安全研究センター センター長・教授 河田恵昭

4.5 成果発表会

4.5.1 第3回成果発表会

日時：2015年2月24日(火) 10時～17時00分

場所：全国町村会館 ホール

主催：都市の脆弱性が引き起こす激甚災害の軽減化プロジェクト

「都市災害における災害対応能力の向上方策に関する調査・研究」チーム

次第・発表者

9:30 開場

総合司会：東京大学生産技術研究所 教授 目黒公郎

新潟大学危機管理室 教授 田村圭子

10:00-10:10 開会挨拶

文部科学省 研究開発局 地震・防災研究課 課長 森澤敏哉

10:10-10:30 都市災害における災害対応能力の向上方策に関する調査・研究の目指すもの

京都大学防災研究所 教授 林 春男

10:30-10:55 都市減災ジオポータルとあなたのまちの直下型地震の開発

京都大学防災研究所 助教 鈴木進吾

10:55-11:20 南海トラフ巨大地震及び首都直下地震におけるインフラ・ライフラインの被害影響とその情報共有

鹿島技術研究所 上席研究員 永田 茂

11:20-11:45 マイクロメディアサービス利活用のための実装環境要件の検討

新潟大学災害・復興科学研究所 助教 井ノ口宗成

今年の注目研究

13:00-14:00 効率的な災害対応を実現する支援システムのあり方とその開発

東京大学生産技術研究所 教授 目黒公郎

14:00-14:25 防災リテラシーハブによる防災知の生成

兵庫県立大学環境人間学部 准教授 木村玲欧

14:35-15:00 中心市街地の地震災害への対応力を高める教育訓練と建物被害対応の取組み

鱒沢工学研究所 代表 鱒沢 曜

15:00-15:25 生活再建支援業務マネジメントマニュアルの構築

～①平成 26 年 8 月豪雨・福知山市における実装～

新潟大学危機管理室 教授 田村圭子

15:25-15:50 生活再建支援業務マネジメントマニュアルの構築

～②東京都における生活再建支援業務マネジメント研修プログラムの開発～
(株)インターリスク総研総合企画部リスク計量評価チーム チーム長 堀江 啓

16:00-16:55 総合討論

モデレータ：京都大学防災研究所 教授 林 春男

討論者：発表者＋聴衆

16:55 閉会挨拶

4.6 サブプロ間連携

4.6.1 サブプロ 1 との連携

サブプロ①運営委員会等にサブプロ③からも委員として参加し、理学・工学・社会科学の連携・接点を議論している。特にサブプロ①における「地震動・地震応答の大規模数値解析法」「その結果の先端可視化技術の開発」等に関して、サブプロ③の「ジオポータル開発」「防災リテラシーハブの研修・訓練プログラム」との連携可能性を模索し、担当者間の研究協力会議を開催している。

具体的には以下の協議を行った。

4.6.1.1 第 5 回研究運営委員会

開催日時：平成 26 年 8 月 29 日（水）13:30～17:30

開催場所：建築会館 304 会議室

議事次第

- ① 南関東の地震像の解明
- ② 観測に基づく都市の地震被害調査技術の開発
- ③ サブプロジェクト①の管理・運営
- ④ 統括委員会によるプロジェクト全体の運営
- ⑤ サブプロジェクト間の連携について

4.6.1.2 第 6 回研究運営委員会

開催日時：平成 27 年 2 月 20 日（金）13:30～17:30

開催場所：東京大学地震研究所 1 号館 3 階 会議室

議事次第

- ① 南関東の地震像の解明
- ② 観測に基づく都市の地震被害調査技術の開発
- ③ サブプロジェクト①の管理・運営
- ④ 統括委員会によるプロジェクト全体の運営
- ⑤ サブプロジェクト間の連携について

4.6.1.3 研究協力会議

開催日時：平成 27 年 3 月 15 日（月）17:00～18:00

開催場所：ホテルメトロポリタン仙台

議事次第

- ① 東京大学地震研究所 教授 堀 宗朗
「火災シミュレーションの先端可視化技術への応用の具体的課題」
- ② 京都大学防災研究所 助教 鈴木 進吾
「ジオ・ポータルシステムのコラボレーションの具体的課題」
- ③ 消防庁消防大学校消防研究センター 地域連携企画担当部長 細川 直史
「火災シミュレーションシステムのコラボレーションの具体的課題」
- ④ 平成 27 年度の実現に向けての次年度計画

4.6.2 サブプロ 2 との連携

都市の集合住宅などの大規模な非木造建物が被災した際の、建物被害調査の方法について、センサーからの損傷程度の評価結果と目視による建物内部の被害調査結果を統合して、建物の安全性や使用継続性など建物被災度の評価方法について検討する。

具体的には以下の協議を行った。

4.6.2.1 第 11 回研究運営委員会

開催日時：平成 26 年 5 月 20 日（火）14:00～17:00

開催場所：建築会館 304 会議室

議事次第

- ① WG 委員と運営方針の確認
- ② 昨年度の WG 立ち上げに関する議事メモ
- ③ WG 活動方針

4.6.2.2 第12回研究運営委員会

開催日時：平成26年7月7日（月）14:00～17:00

開催場所：建築会館 304 会議室

議事次第

- ① 前回議事録確認と昨年度のまとめ
- ② 今年度の研究計画について
- ③ 研究成果の社会還元方策

4.6.2.3 第2回モニタリング検討WG

開催日時：平成26年8月27日（水）17:00～19:00

開催場所：建築会館 301 会議室

議事次第

- ① 前回議事録確認
- ② 健全度判定システムを用いた地震時の建物の管理マニュアル
- ③ 分科会からの回答・コメント
- ④ マニュアル作成方針

4.6.2.4 第13回研究運営委員会

開催日時：平成26年10月24日（金）14:00～17:00

開催場所：建築会館 304 会議室

議事次第

- ① 前回議事録確認
- ② 分科会報告
- ③ 研究成果の社会還元方策
- ④ 統括委員会議事録確認
- ⑤ 中間成果報告会回答確認

4.6.2.5 第15回研究運営委員会

開催日時：平成27年3月2日（金）14:00～17:00

開催場所：建築会館 304 会議室

議事次第

- ① 前回議事録確認
- ② 分科会報告（今年度研究実施状況と来年度研究計画）
- ③ 来年度業務計画とスケジュールについて
- ④ 成果展開の実績と予定

4.7 対外発表

4.7.1 成果の論文発表・口頭発表等

発表成果、掲載論文	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国内の別
Analysis of the Allocation Pattern of the temporary housing Sites after Disasters (口頭)	越山健治	3 rd International Conference of Urban Disaster Reduction	2014年9月	国際
供給系ライフラインの地震時機能的被害・復旧評価モデル—市区町村別簡易評価法のシステム構築— (口頭)	加藤宏紀, 能島暢呂	第14回日本地震工学シンポジウム(日本地震工学会)(千葉市)	2014年12月	国内
南海トラフ巨大地震によるエネルギー関連施設の曝露評価 (口頭)	能島暢呂, 加藤宏紀	第14回日本地震工学シンポジウム(日本地震工学会)(千葉市)	2014年12月	国内
既往の上水道配水管の地震被害予測式の予測精度に関する検討 (口頭)	永田茂, 丸山喜久, 庄司学	第34回地震工学研究発表会(土木学会)(長岡市)	2014年10月	国内
上水道配水管の地震被害予測式の予測精度に関する検討 (口頭)	永田茂, 丸山喜久	第14回日本地震工学シンポジウム(日本地震工学会)(千葉市)	2014年12月	国内
液状化被害を受けた埋設管路・敷設下の工学的基盤に入射した地震波の特徴 (口頭)	庄司学, 築地拓哉	第14回日本地震工学シンポジウム(日本地震工学会)(千葉市)	2014年12月	国内
液状化により甚大な被害を受けた埋設管路網・敷設下の工学的基盤に作用した地震動の特徴 (口頭)	庄司学, 築地拓哉	土木学会第69回年次学術講演会(土木学会)(大阪大学)	2014年9月	国内
Comparison of the observed and estimated fragility of the water distribution system of Sendai City, Miyagi Prefecture during the 2011 Tohoku earthquake (口頭)	Yoshihisa Maruyama, Kazue Wakamatsu, Shigeru Nagata	10th National Conference on Earthquake Engineering (アンカレッジ, 米国)	2014年7月	国際
Estimation of traffic situation after the 2011 Great East Japan earthquake based on probe-car data and vehicle information and communication system (口頭)	Yuki Habuka, Yoshihisa Maruyama, Ken'ichi Kouchi	5th Asia Conference on Earthquake Engineering (台北, 台湾)	2014年10月	国際
橋台周辺部の津波被害把握とその特徴 (口頭)	高橋和慎, 庄司学	第17回性能に基づく橋梁等の耐震設計に関するシンポジウム(土木学会)(東京)	2014年7月	国内
水道統計に基づく全国水道事業者の配水管路網の脆弱性評価	能島暢呂, 加藤宏紀	土木学会論文集A1(構造・地震工学), Vol. 70, No. 4	2014年7月	国内
機能的脆弱性関数による都市ガスの地震時供給停止人口の推計	能島暢呂, 加藤宏紀	地域安全学会論文集 No.23	2014年7月	国内
上水道配水管の地震被害予測式の予測精度に関する検討	永田茂, 丸山喜久, 庄司学	土木学会論文集A1(構造・地震工学)	掲載予定	国内
超高密度地震観測情報に基づく地盤震動特性の評価	猪股渉, 乗藤雄基, 大田肇士, 丸山喜久	土木学会論文集A1(構造・地震工学), Vol. 70, No. 4	2014年7月	国内
東北地方太平洋沖地震における宮城県仙台市の水道管路被害状況の分析	丸山喜久, 伊藤智大, 若松加寿江, 永田茂	土木学会論文集A1(構造・地震工学), Vol. 70, No. 3	2014年9月	国内
橋梁構造物に入射する津波の時系列波形とその類型化	中村友治, 庄司学	土木学会論文集A1(構造・地震工学), Vol. 70, No. 4	2014年7月	国内
水道管耐震12%どまり 岐阜大教授, 全国分析	能島暢呂	朝日新聞朝刊	2015年1月19日	国内
発災時の災害対策本部を起点とした情報の流通 (口頭)	江渡浩一郎, 瀬川典久	地域安全学会・電子情報通信学会合同開催減災情報システム第2	2014年9月2日	国内

発表成果、掲載論文	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国内の別
		回合同研究会		
災害情報共有・サービス連携への取り組みとその変遷（口頭）	野田五十樹	マイクロメディアサービス研究会	2014年6月19日	国内
災害対策法制度の見直しと課題（口頭）	武田文男	第15回比較防災学ワークショップ	2015年1月23日	国内
政令指定市等における災害対策法制度の課題（口頭）	武田文男	第3回国連防災世界会議パブリックフォーラム—世界と日本の防災政策—	2015年3月14日	国内
被災者支援法制度の系譜と今後（口頭）	山崎栄一	兵庫自治学会シンポジウム 神戸元町・東亜ホール	2014年11月15日	国内
自然災害と被災者支援（口頭）	山崎栄一	日本公共政策学会関西支部	2014年12月6日	国内
レジリエンスを支える法制度	山崎栄一	情報誌CEL第108号56～59頁	2014年11月	国内
「被災者台帳システムのさらなる普及を」「災害対策基本法一改正の意義と残された課題」	山崎栄一	兵庫県震災復興研究センター編『大震災20年と復興災害』クリエイツかもがわ140～143頁、144～147頁	2015年1月	国内
地域施策 重要性さらに	山崎栄一	神戸新聞（朝刊）6面	2015年3月17日	国内
震災関連死の不認定『全件再審査を』	山崎栄一	朝日新聞（朝刊 岩手全県）29面	2015年3月18日	国内
災害発生時における危機対応システム—米国の事例に学ぶ—	牧紀男	海外社会保障研究、No. 188, pp. 4-14, 2014	2014年9月	国内
機能に応じた組織をつくれ	牧紀男	リスク対策.COM	2014年7月25日	国内
BCP連携が機能する条件	牧紀男	リスク対策.COM	2014年11月25日	国内
ESFとAARに着目した防災計画	牧紀男	リスク対策.COM	2015年3月25日	国内
Japanese Economic Scenarios after Tokyo Inland Earthquake: - An Expert Questionnaire Survey to Leading Japanese Economic Forecasters. (口頭)	Shingo NAGAMATSU	International Disaster Risk Conference	2014年8月25日	国際
Are Cash for Work (CFW) programs effective to promote disaster recovery? Evidence from the case of Fukushima Prefecture (口頭)	Shingo NAGAMATSU	International Disaster Risk Conference	2014年8月26日	国際
The Proposal of the Approach to Enhance Disaster Management Literacy Arranging Knowledge and Lesson of Disaster Management: Utilizing “Design Trend Press (DTP)” (ポスター)	OKUMOTO, A., TAKASAKI, H., TAMADA, R., YASUOKA, S., TOMOYASU, K., KIMURA, R. and HAYASHI, H.	TIEMS (The International Emergency Management Society) 2014 Annual Conference in Niigata Japan	2014年10月22日	国際
災害時要援護者支援に係る避難支援推進モデルの提案—神戸市の防災福祉コミュニティを事例として—	松山雅洋・林春男・木村玲欧・友安航太	地域安全学会論文集、No. 24, pp. 283-291	2014年11月	国内
新宿駅周辺地域の都市再生安全確保計画の現状と課題（口頭）	村上正浩	社会貢献学会第5回大会	2014年12月	国内
新宿駅西口地域の都市再生安全確保計画に関する研究（口頭）	村上正浩、新藤淳	日本建築学会大会（近畿）	2014年9月	国内
超高層ビル街における地震後の建物被害確認と即時使用性判定に関する研究 その1:テナント入居者による建物被害確認と情報集約（口頭）	本橋直之、鱈沢曜、田中聡、久田嘉章、宮村正光、諏訪仁	日本建築学会大会（近畿）	2014年9月	国内
超高層ビル街における地震後	湯澤伸伍、宮村正	日本建築学会大会（近	2014年9月	国内

発表成果、掲載論文	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国内の別
の建物被害確認と即時使用性判定に関する研究 その3: 建物管理者による即時使用性判定法の提案と訓練での検証(口頭)	光、諏訪仁、久田嘉章、鱈沢曜、田中聡	畿)		
特集 阪神淡路大震災20年: 災害への備えがどう変わったか「新しい公共の担い手を取り巻く課題と今後」	村上正浩	都市住宅学、88号、pp. 29-32	2015年1月	国内
新宿駅周辺地域を対象とした都心業務地域のエリア防災に関する研究 その1: 都市再生安全確保計画と今後の課題	村上正浩、新藤淳、久田嘉章	第14回日本地震工学シンポジウム論文集、pp. 1405-1414	2014年12月	国内
新宿駅周辺地域を対象とした都心業務地域のエリア防災に関する研究 その2: 地域連携による危機対応とその標準化	新藤淳、村上正浩、久田嘉章	第14回日本地震工学シンポジウム論文集、pp. 1415-1423	2014年12月	国内
中心市街地の地震災害への対応力を高める教育訓練と傷病者対応の取組み	鱈沢曜、久田嘉章、村上正浩、新藤淳	第14回日本地震工学シンポジウム論文集、pp. 1424-1433	2014年12月	国内
超高層ビル街における地震後の建物被害確認と情報集約手法の検討	本橋直之、鱈沢曜、田中聡、久田嘉章、水越薫、中嶋洋介、宮村正光、諏訪仁	第14回日本地震工学シンポジウム論文集、pp. 1486-1495	2014年12月	国内
超高層ビル街における地震後の建物被害確認と即時使用性判定に関する研究-建物管理者による即時使用性判定法の提案と訓練での検証-	諏訪仁、宮村正光、久田嘉章、村上正浩、鱈沢曜、児島帝二、武居由紀子、湯澤伸伍	第14回日本地震工学シンポジウム論文集、pp. 1482-1485	2014年12月	国内
地震への備え見直せ 23日に防災セミナー 博多まちづくり推進協	村上正浩	西日本新聞 朝刊都市圏版	2015年1月15日	国内
超高層ビル街における地震後の建物被害確認と情報集約手法の検討(口頭)	本橋直之、鱈沢曜、田中聡、久田嘉章、水越薫、中嶋洋介、宮村正光、諏訪仁	第14回日本地震工学シンポジウム	2014年12月	国内
建物被害調査における Visual Monitoring System 構築に向けたデータ共有システムの開発(口頭)	田中聡	第14回日本地震工学シンポジウム	2014年12月	国内
超高層ビル街における地震後の建物被害確認と即時使用性判定に関する研究 その2: 携帯情報端末を活用した建物被害調査システム(口頭)	田中聡、鱈沢曜、水越薫、中嶋洋介、久田嘉章	日本建築学会 2014年度大会	2014年9月	国内
Developing "Building Damage Assessment Model" Utilizing Web-based GIS API on Tablet Device (口頭)	Munenari INOBUCHI, Keiko TAMURA, Kei HORIE, Shuichi SAKUMA, Haruo HAYASHI	3rd International Conference on Urban Disaster Reduction	2014年9月	国際
Implementation of Web-based System for Building Damage Assessment on Online Network - Case studies of Typhoon MAN-YI (1318) and Typhoon WIPHA (1326) in Japan -	Munenari INOBUCHI, Keiko TAMURA, Kei HORIE, Haruo HAYASHI	2014 IEEE ASIA PACIFIC CONFERENCE ON CIRCUITS AND SYSTEMS, pp. 395-398	2014年11月	国際
被災者生活再建支援システム	林春男、田村圭子他	GOOD DESIGN AWARD 2014	2014年10月	国内
The Role of Mass Media during disaster from experiences of the 2011 Great East Japan Earthquake (口頭)	Muneyoshi NUMADA	Proceedings of the Third International Conference on Urban Disaster Reduction, Earthquake Engineering Research Institute, Boulder,	2014年9月30日	国際

発表成果、掲載論文	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国内の別
		CO、USA、Track 2: Breakout #3		
Role of news media from experiences of the 2011 Great East Japan earthquake (口頭)	Muneyoshi Numada and Kimiro Meguro	PARALLEL SESSION 7、the 3rd International Symposium on New Technologies for Urban Safety of Mega Cities in Asia、Yangon、Myanmar	2014年11月	国際
Analysis of the Initial Response of Yabuki Town during the 2011 Great East Japan Earthquake and Proposal of Disaster Response Process	Muneyoshi NUMADA、Kimiro MEGURO	Proceedings of the 14th Japan Earthquake Engineering Symposium、Chiba、Japan、G020-Thu-9、pp.1293-1300	2014年12月4日	国内
巨大災害時に適切に遺体処理を行うための重要ポイントー東日本大震災時の経験を踏まえてー	目黒公郎、沼田宗純、梅原明彦	第14回日本地震工学シンポジウム、G020-Thu-10、pp.1301-1306	2014年12月4日	国内
The Tohoku Earthquake: A Three Year Progress Report	H. Hayashi, L. Johnson, M. Numada, R. Olshansky, N. Maki, M. Ubaura	39th Annual Natural Hazards Research and Applications Workshop	2014年6月23日	国際
公費 遠い住宅再建 公助の限界多重防御で備えて	林春男	朝日新聞朝刊	2014年6月23日	国内
経済停滞、再建阻む	林春男	日本経済新聞夕刊	2014年12月17日	国内
情報体制の整備と訓練	林春男	読売新聞朝刊	2015年2月5日	国内
「郷土の宝」どう守る 初動の重要性共有	林春男	岩手日報朝刊	2015年3月18日	国内
「つぶやき」で危険察知 避難情報	林春男	中国新聞朝刊	2015年3月26日	国内
NHKスペシャル震災ビッグデータFile.4 いのちの防災地図～巨大災害から生き延びるために～	林春男	NHK	2015年3月10日	国内

4.7.2 特許出願，ソフトウェア開発，仕様・標準等の策定等

4.7.2.1 特許出願

なし

4.7.2.2 ソフトウェア開発

名称	機能
あなたのまちの直下型地震	全国で任意の震源で地震災害の各種想定・推定をウェブで実行できる。
供給系ライフライン地震時機能被害・復旧予測モデル（市区町村別簡易評価版）	市区町村震度入力に対して、電気・水道・都市ガスの供給停止人口と供給率の時系列が市区町村単位で算出・図示される。全国・ブロック・都道府県単位の集計結果図示される。
建物被害調査	災害時に建物に発生した被害を調査し、内閣府の基準に準拠した建物の損傷程度を評価する。

4.7.2.3 仕様・標準等の策定

なし